

越前町小中学校の再編についての地区懇談会 結果概要（糸生小学校区）

○開催日：令和4年10月12日（水）午後7時2分～9時8分

○場 所：糸生小学校体育館

○参加者：保護者5名 一般住民13名 合計18名

○内 容：小中学校の再編についての意見交換

主な意見と回答

（参加者）昨年から学校再編の問題を地域住民の一人として考えていた。糸生地区の関係施設が減っている中、せめて小学校だけでも、という寂しい思いもあるが、再編の判断はやむを得ないと思う。子どもの教育を第一に考えることが大人の務めであり、多くの友だちの中で学び合っていくことが、人間形成に大事だと思っている。その上で意見を述べたい。

- ① 学校再編をまちづくりのきっかけに出来ないか。朝日小学校を新築し、ワクワクするような夢のある提案をしていただけないか。
- ② 朝日小学校の位置について、近年の異常気象の中では、防災上不十分ではないか。
- ③ 朝日小学校までのアクセス道路について、倒木など暗く危険である。

⇒（教委）

- ① 朝日小学校は、統廃合とは別に大規模改修の時期にきている。そのことも踏まえ十分に検討していきたい。
- ② 県において天王川の河川改修を実施しているが、一刻も早く完成するよう対応したい。
- ③ 当該道路は県管轄ではあるが、緊急時には町でも対応出来るよう準備したい。

（参加者）学校の敷地はお寺の所有であるから、境内に戻して欲しい思いがある。地域の方々も、もっと興味を持って、知恵を絞ってアイデアを出して欲しい。

⇒（教委）町も先進事例を調べているが、皆さんのお知恵をお借りしながら、糸生地区にふさわしいもの、また要望に沿うよう進めていきたい。

（参加者）常磐小学校の児童数の見込みを教えて欲しい。

⇒（教委）令和4年度から令和10年度までの見込みを回答。

⇒（参加者）常磐小学校はいつから複式学級が発生しているのか。

⇒（教委）手持ちの資料は昭和54年からではあるが、すでに複式学級は発生している。

⇒（参加者）昔から複式学級であり、朝日小学校からも近いのに、なぜ今更統合しようとするのか。

⇒（教委）旧朝日町時代の理事者は、統廃合ではなく独自の加配により複式学級に対応してきた。町村合併により、このままでよいのかという声があがり、調査委員会や検討委員会を立ち上げ検討し、説明会、懇談会という形で進めてきた。これまでも意見はあったと思うが、デリケートな問題であるためなかなか進まなかった。

⇒（参加者）糸生中学校の統合の時と比べ、丁寧に進めていると感じる。当時は話も聞いてもらえず強引に進められ、校舎や校歌などは新しくなったが、事実上の吸収合併だった。今回の糸生小の統合は吸収合併で良いと思うが、子どもファーストで考えて欲しい。また、常磐小と同時に移行した方が、子どもや先生の負担も軽減されるのではないかと。

⇒（教委）常磐小の保護者の中には、1年でも早くという方もいる。同時再編となると常磐小を遅らすか、糸生小を早くするかであり、難しい調整が必要となる。

（参加者）昨年の説明会では、先生の意見については話せないと言われた。それは今でも同じか。

⇒（教委）先生方のアンケートは参考にとったものなので公表出来ないと言った。意見としては、大きい学校、小さい学校それぞれの良さがある中、賑やかな学校が望ましいとの意見であったと認識している。

⇒（参加者）糸生小学校の先生の中でも多かったということか。

⇒（教委）学校別ではなく、全体のまとめの意見である。

⇒（参加者）朝日小学校の先生も入っているのか。朝日小学校の先生は多いので、意見が偏るのではないかと。

⇒（教委）先生もそれぞれの学校に異動しているので、小さい大きい区別なく全域の先生で考えている。

⇒（参加者）前回の説明会で、小さい頃から多様な人間関係を持つことが大事だと説明を受けたが、抽象的なので分かりやすく説明して欲しい。

⇒（教委）何人の中で学ぶことが良いとは言えないが、1、2人の中で学ぶ中とでは大きな差が出る。中学校になって大きな学校へ行くことで、学校へ行きたくない子もいる。小さい頃から出来るだけ多くの友だちの考えに触れることが大事だと考える。

⇒（参加者）糸生小学校から朝日中学校に行くことで、実際に問題が起きているのか。

⇒（教委）一般的に起こりえるということである。

⇒（参加者）一般的な話では統合する理由にならないのではないかと。別に何かあるのではないかと。

⇒（教委）令和2年度から学習指導要領が改訂され、子どもたちが集団の中で学ぶことなどが、生きる力をつけることに繋がると示された。このことから、一定規模での集団の学びが必要であると考えられる。

⇒（参加者）国の考えに従わなければならないのか。ペナルティがあるのか。

⇒（教委）学習指導要領に基づいて教育を行うことが、地方自治体に求められた使命である。

⇒（参加者）納得はいかないが、少し分かった。

（参加者）現在、大人数の保育所を選び子どもを通わせている。様々な友だちを見ながら自分なりに一生懸命やっている姿を見ており、そのような機会が無くなり、子どもの可能性を潰してしまうことも親として考えなければならない。そのため、早く統合して欲しいと考えている。

⇒（教委）今のようなご意見から再編の話も起きているので、慎重に進めたい。

(参加者) 糸生中学校が統合する時は、保護者として不安であったが、今となっては親も子も統合して良かったと感じている。いつまでも保護者や地域が不安がっていると、子どもにも伝わってしまい、結果的に良くならないと思う。子どもたちは自分で人間関係を作っていく力もあり、大人や行政がサポートをしていけば大丈夫だ。

⇒(教委) 早く進めて欲しい意見や、慎重に進めて欲しい意見などある中ではあるが、行政のサポートもしっかりしながら進めていきたい。

(参加者) 統合することによって、こんなに素晴らしいことがあるのだとアピール出来るよう進めて欲しい。教育の内容がどう変わっていくのか分かると、地域の方もより理解出来るのではと感じた。

学校跡地については、不登校などの子どもたちを支援するために利用できないか。また、中学校の統合についても、将来の少子化も視野に入れ、中学校一本化を検討しなければならないと思う。

⇒(教委) 学校跡地を学校として利用することは、地域の安心に繋がる。他の学校区でも同じような意見を頂いているので、検討したいと思う。

中学校の再編については、朝日中学校以外は部活動の問題も早く解消したいと考えている。

(参加者) 町長や議会、区長会などはどのような考えがあるのか、意見を聞いて欲しい。

⇒(教委) 昨年、区長や関係者に集まっていた。町長にもその都度報告しており、議会にも月例会などで状況を報告している。

(参加者) 朝日小学校の教室は、昔の一斉学習の規模で狭く、新しい学習指導要領に沿うような教室になっていない。学校再編までの段取りなど主体的に取り組んでいく上で、1人の担任が行うには負担が大きいと思う。ワクワクするような新しい教育内容を全面に押し出し取り組んで行くには、人材が必要であるし、再編に対してこれはいいと思うスタイルには程遠いと感じる。

⇒(教委) 朝日小学校で特色のある教育が出来たら、子どもや保護者、地域も楽しいと思う。これから、皆さんのお知恵をお借りしながら統合したいと思えるような学校にしたいので、またご意見を頂けたらと思う。